



# 沢地小だより

第5号 令和5年8月28日



## 夏休み明け学校再開～子供たちの元気な声がいっぱい～

37日間の夏休みが終わり、沢地小に子供たちの笑顔と元気な声もどってきました。朝から元気にあいさつができる沢地小の子供たちです。とても素敵な表情からパワーをもらっています。子供たちは久しぶりに友達に会い、笑顔で会話を楽しんだり、外遊びを楽しんだり、元気いっぱいです。

さて、沢地小学校は今年度、開校 50 周年を迎えます。令和 5 年度がスタートしてから、航空写真撮影や桜の木の記念植樹などの活動を行ってきました。そして10月には、開校50周年記念式典や記念行事を計画しています。開校から50年、沢地小学校は、多くの皆様に見守られ、支えられてきました。沢地小の子供たちには、「自分が好き」「友達が好き」「沢地小が好き」を意識して、学校生活を過ごしてほしいと思います。

そして子供たちが、50年の歴史を振り返り、「われら沢地小」を感じ、さらに成長することを願っています。今後とも沢地小の教育活動に、御理解と御協力のほど、お願い申し上げます。

### 沢地小学校 開校 50 周年「われら沢地小」 part 1

《 沢地小の歩み(開校記念) 》※昭和49年度卒業アルバムより抜粋

昭和49年	4月	沢地小開校	第1回入学式	校内開校式
	6月	「開校の歌」完成	落成記念式典	挙行 小運動会
	7月	プール完成		
	10月	大運動会		
50年	1月	「われら沢地小(校歌)」完成		
	3月	第1回卒業式		

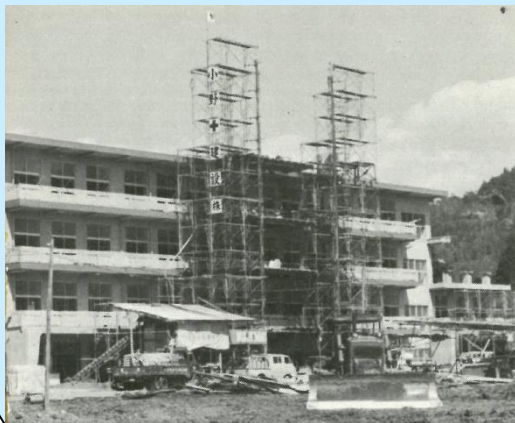


ぼくらの手で石ひろい

開校当時の卒業アルバムから、地域の皆様、子供たちと教職員が、心と力をついに学校をスタートさせたことがわかります。開校当時から「豆グループ」縦割り活動が行われていました。春と秋の遠足、児童会活動など、豆グループで様々な活動を行い、互いに思いやりの心を持ちながら学校生活を送っていました。相手を思いやる心、協力することは50年前も今も、大切にされています。

### 「沢地小学校」※昭和49年度卒業アルバム 児童作文より抜粋

私たちが、教室に初めて入った時は、木のおいがぷんぷんした。運動場だってデコボコで石がゴロゴロしていた。でも今はみんなの吐く息でいっぱいだ。運動場だってみんなで石を毎日拾っていたら、だいぶきれいになった。…学校中のドアや窓など、みんなの手のあとが付いている。みんなの声が学校中にこだまする。… 私は、最初友達があまりいなくてつまらなかったけど、豆グループなどで友達ができ、今は学校へ行くのがとっても楽しい。けど自分だけ楽しくても一人がしょんぼりしていたら学校じゅうみんながつまらなくなってしまう。これからもっともっと楽しく良い学校にしていくには、一人一人助け合って三島一、そして日本一の学校にしていきたい。



建設中の校舎



完成した校舎

「われら沢地小」  
誇りと愛着を持って  
学校生活を過ごした  
第1回卒業生の思い  
が込められた作文に  
心が震えます。